

(様式1)

令和2年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 13	提案機関名 農業技術センター普及指導部
要望問題名 根こぶ病耐病性ブロッコリー優良品種の選定	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 ブロッコリーは、緑黄色野菜の中心的な品目として、県内で広く栽培されているが、根こぶ病の発生が問題となっている。特に、酸性土壌や排水の悪い畑、ブロッコリー、キャベツ等の根こぶ病に弱いアブラナ科野菜の連作により発生しやすくなっている。対策として、発生ほ場では土壌改良や土壌消毒等が行われているが、発生を抑えるには至っていない。近年、根こぶ病耐病性品種が育成され、導入されつつあるが、メーカーにより耐病性に強さや花蕾品質が異なっており、生産者は品種の選択に苦慮している。そこで、根こぶ病耐病性品種について、夏まき、秋まき各作型別の特性を明らかにしていただきたい。	
解決希望年限	①1年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> ①農業技術センター    ②畜産技術センター    ③水産技術センター    ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名 農業技術センター	担当部所 生産技術部 野菜作物研究課、 生産環境部 病害虫研究課
対応区分	①実施    ②実施中    ③継続検討    ④実施済    ⑤調査指導対応 <input checked="" type="checkbox"/> ⑥現地対応    ⑦実施不可
試験研究課題名	
対応の内容等 ブロッコリー品種につきましては、「神奈川県野菜優良種導入指針」の改訂作業とも連携して、平成28～30年度にかけて12～2月どり優良品種を選定したところです。 御要望の内容は、アブラナ科野菜根こぶ病の発生ほ場において、罹病下のブロッコリー品種が発揮する生産力、花蕾品質等の評価が必要である、と見受けました。 当所内にはアブラナ科野菜根こぶ病汚染ほ場が無いこと、また、現在発表されている同病耐病性ブロッコリーが5品種程度と少ないことから、現地の根こぶ病汚染ほ場に普及展示ほを設置いただき、その際、情報提供、調査協力を行わせていただきます。	
解決予定年限	①1年以内      ②2～3年以内      ③4～5年以内      ④5～10年以内
備考	